

## (6) 畜産振興課



# 【継続】畜産所得向上支援事業費

## 概要

○国際競争に打ち勝つ競争力の強いやまがたの畜産業の実現に向けた、中小家族経営を含めた意欲ある担い手が行う生産基盤の強化、ICT活用による飼養管理の省力化などの取組みへの支援

予算額（当初）：102,458千円

事業期間：令和3～6年度

## 背景／課題

### 背景

- ・担い手の高齢化等で中小規模経営の減少が顕著
- ・法人化が進む一方で拡大意欲（新規参入も含む）を持つ家族経営体も多く存在
- ・長時間労働及び労働力不足
- ・コロナ禍での畜産物の需要が減少
- ・国際経済連携協定等の発効による産地間競争の激化

### 課題

<畜産を核とした地域農業の収益向上>

- ・規模拡大等を図るための多額の初期投資
- ・作業の外部的・省力化、生産費の3～6割を占める飼料費の低減
- ・消費者から選ばれる高品質な畜産物の生産
- ・新型コロナ及び国内外の産地間競争に負けない畜産経営の育成

## 事業内容

<事業メニュー>

### 1ハード支援

- (1)簡易畜舎等整備支援  
生産拡大、堆肥利用推進等のための施設や機械の整備等を支援
- (2)空畜舎等リニューアル整備支援  
空畜舎等施設を有効活用するための施設の改修等を支援
- (3)生産性向上・省力化ICT機器整備支援  
生産性向上や省力化のための必要な機械や設備の整備を支援
- (4)飼料基盤強化支援  
飼料基盤の整備のための施設や機械の整備を支援

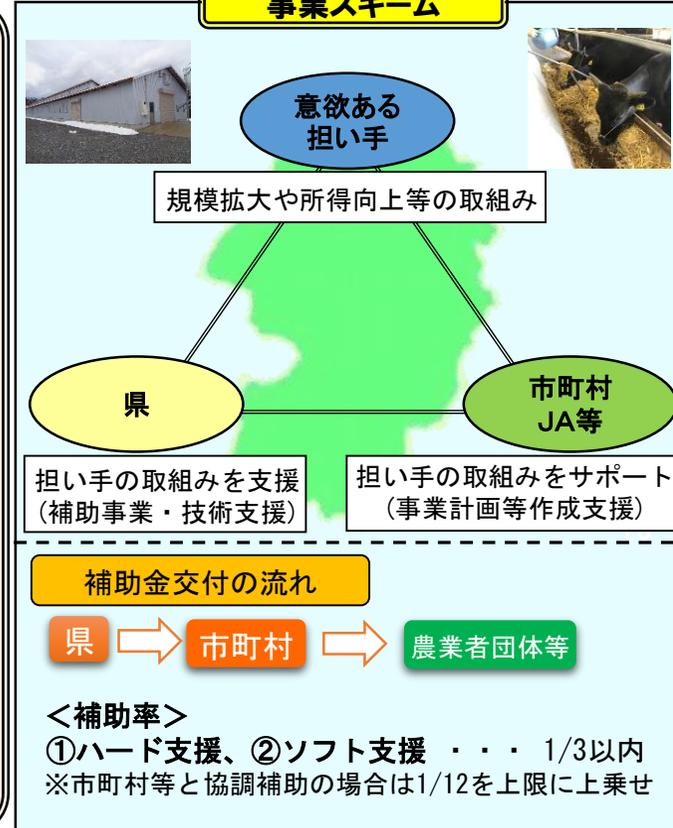
### 2ソフト支援

- 所得向上に向けた下記の取組みを支援
- (1)生産性向上技術開発・研修支援
  - (2)畜産物・畜産加工品の販路開拓等支援

<事業実施主体>

営農集団（2戸以上の畜産業者）、農協、市町村等

## 事業スキーム



## 事業目標

・畜産産出額 R2（直近）376億円 ⇒ R6（目標）423億円

## 問い合わせ先

- 担当課：畜産振興課  
畜産振興担当
- 電話：023-630-2473

# 【拡充】やまがたの和牛増頭戦略事業費

## 概要

○山形生まれ・山形育ちの「総称山形牛」の生産拡大に向けた、和牛繁殖雌牛の増頭、一貫経営への移行推進、受精卵移植等による和牛子牛の増産への支援

予算額（当初）：16,241千円

事業期間：令和3～6年度

## 背景／課題

### 背景

#### 【繁殖経営】

- ・戸数は高齢化の進展などにより減少傾向
- ・和牛繁殖雌牛頭数は増加傾向にあるが、肥育素牛の県内自給率は約2割と低い

#### 【肥育経営】

- ・戸数は減少傾向にあるものの、法人化が進展
- ・全国的に子牛が不足しており、肥育素牛価格の高止まりから一貫経営が増加傾向

### 課題

- ◆担い手の育成確保
- ◆繁殖基盤の強化と県産和牛子牛の増産
  - ・和牛繁殖雌牛の更なる増頭と能力向上
  - ・一貫経営移行の際の繁殖技術の習得
  - ・酪農と連携した受精卵移植（ET）の促進

## 事業内容

- 和牛増頭に向けた戦略の展開
  - ・和牛増頭戦略協議会、地域推進会議、和牛塾の開催
- 和牛繁殖・肥育一貫経営移行支援事業
  - ・一貫経営に移行する肥育農家を対象に、繁殖管理に必要な技術習得等を重点支援
  - ・和牛繁殖雌牛の飼養管理技術の向上等に関する研修会の開催や巡回指導
- 和牛繁殖雌牛増頭事業
  - ・意欲ある生産者の和牛繁殖雌牛の増頭を支援
- 和牛繁殖雌牛導入事業
  - ・市町村と県で基金を造成し、中核的な畜産担い手に和牛繁殖雌牛を貸付
- ET活用和牛増産事業
  - ・キャトルセンターと連携し、県が生産した和牛受精卵を活用した和牛子牛の増産と哺育育成の取組みを支援
- 牛肉食味の「見える化」
  - ・食味の特長を客観的に評価できる指標を「見える化」することにより、食味に優れた「総称山形牛」をPR
- 食味を重視した「総称山形牛」の生産拡大事業
  - ・食味に優れた牛肉の低コスト生産技術を現地実証
- 新技術を活用した高能力繁殖雌牛整備事業【新規】
  - ・ゲノミック評価技術を活用した高能力な和牛繁殖雌牛の選抜等を支援

## 事業スキーム

### 【県域】やまがたの和牛増頭戦略協議会

- ・県域で増頭を推進するための企画立案
- ・和牛塾等の開催による技術向上と生産者間の交流推進



### 連携

### 【地域】地域増頭戦略推進会議

- ・地域で増頭を推進するための企画立案
- ・和牛繁殖（一貫）モデル農家を地域ぐるみで育成

### 和牛農家



- 酪農家との連携（ET）
- 高能力な和牛繁殖雌牛の整備
- 生産性の向上（繁殖技術の習得）

### 和牛繁殖雌牛増頭事業費補助金交付の流れ



和牛繁殖雌牛の導入経費（運搬費等を含む）支援  
※補助額：導入経費の1/6又は100千円のいずれか低い額

### 高能力繁殖雌牛整備事業費補助金交付の流れ



ゲノミック評価分析経費の支援  
※補助額：7千円/頭

## 事業目標

・農業者1人当たり肉用牛産出額 R2（直近）1,825万円 ⇒ R6（目標）2,015万円

## 問い合わせ先

- 担当課：畜産振興課  
畜産振興担当
- 電話：023-630-2473

# 【拡充】肉用牛改良増殖対策事業費

## 概要

○県内の遺伝的能力が優れた繁殖雌牛に、基幹種雄牛を計画的に交配して生産された雄子牛の能力評価・選抜による遺伝的能力の高い県産種雄牛の造成

予算額（当初）：33,492千円

事業期間：令和3～6年度

## 背景／課題

### 背景

- ◆人口の減少による国内市場の縮小やグローバル化の進展により、国内外の産地間競争が激化
- ◆「総称山形牛」の品質向上を図るため、能力の高い県産種雄牛の作出が求められている

### 課題

- ◆産地間競争に打ち勝つための品質面での優位性の確保
- ◆「総称山形牛」の評価向上によるブランド力の強化
- ・遺伝的に高能力な県産種雄牛の作出
- ・県産種雄牛や「総称山形牛」の優良性のPR（全国和牛能力共進会における出品牛の上位入賞）

## 事業内容

- 1 育種改良推進協議会等の開催
  - ・肉用牛改良方針の策定、候補牛の選定、事業推進等に向けた肉用牛育種改良推進協議会の開催
- 2 計画交配の推進
  - ・県内の優れた繁殖雌牛「基礎雌牛」に優秀な基幹種雄牛を計画的に交配
- 3 直接検定
  - ・基礎雌牛から生まれた雄子牛について、現地調査等による選抜のうえ、畜産研究所による直接検定の実施
- 4 現場後代検定
  - ・直接検定の成績が優れた候補種雄牛に対する現場後代検定（産子を肥育して産肉能力を調査）
- 5 DNA育種実用化推進
  - ・牛肉の「甘み」など「おいしさの指標」に基づく候補種雄牛の能力評価等
- 6 家畜人工授精業務
  - ・県産種雄牛の凍結精液の製造・販売
- 7 雌牛の能力評価と指導
  - ・育種価分析のための血統情報と登録情報の収集・整理等
- 8 全国和牛能力共進会【新規】
  - ・第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会（令和4年10月）への出品等

## 事業スキーム

### 【繁殖農家】

基礎雌牛 × 基幹種雄牛（計画交配）

↓ 分娩（♂）  
選抜

### 【畜産研究所】

直接検定の実施（増体能力等評価）

↓ 候補種雄牛  
選抜

### 現場後代検定

- 県内雌牛 × 候補種雄牛（調整交配）
- 産子の肥育
- 肉質等の調査（枝肉成績等の産肉能力評価）

↓ 県産種雄牛のデビュー

### 全国和牛能力共進会補助金交付の流れ

県

⇒ 全国和牛登録協会  
山形県支部

⇒ 各和牛改良組合

代表牛等の輸送に対する補助  
※補助率：1/3以内

## 事業目標

・農業者1人当たり肉用牛産出額 R2（直近）1,825万円 ⇒ R6（目標）2,015万円

## 問い合わせ先

- 担当課：畜産振興課  
畜産振興担当
- 電話：023-630-3351

# 【継続】自給飼料生産対策事業費

## 概要

○自給飼料生産利用の拡大による畜産経営の安定化に向けた、稲発酵粗飼料専用品種の種籾生産と供給体制の構築・省力栽培、飼料分析、コントラクターの育成、広域飼料流通体制の構築、簡易放牧の普及拡大等の取組みへの支援

予算額（当初）：2,361千円

事業期間：令和3～5年度

## 背景／課題

### 【背景】

- ・輸入飼料価格の高騰による国内産飼料への転換が急務
- ・和牛肥育経営から一貫経営への移行により、繁殖牛頭数が増加し、県内の粗飼料需要が増加
- ・水田フル活用による稲発酵粗飼料（以下、稲WCS）の需要の高まり
- ・大部分を占める中小規模畜産農家にとって、飼料生産のための労力確保が困難

### 【課題】

- ・稲WCS専用品種の省力栽培技術の確立、及び種籾生産量の安定確保
- ・飼料生産を請け負う組織 コントラクターの育成、及び広域的な飼料の流通体制
- ・粗飼料確保及び飼養管理省力化となる簡易放牧の普及

## 事業内容

- 1 自給飼料増産推進事業
  - 稲WCS専用品種「山形飼糯138号」の生産利用・拡大
    - ・直播栽培の現地実証
    - ・種籾生産及び供給体制の構築
- 2 飼料利用高度化推進事業
  - 自給飼料の成分分析及び巡回指導等
- 3 自給飼料安定確保対策事業
  - コントラクターモデル育成対策
  - 県内産自給飼料の広域流通推進
- 4 和牛繁殖雌牛を活用した地域農業の活性化事業
  - 地域の和牛繁殖雌牛増加に対応するため、遊休農地等を活用した簡易放牧を実証
- 5 耕畜連携による簡易放牧拡大事業
  - 簡易放牧普及拡大のための新技術（吸血昆虫対策）を実証



## 事業スキーム

### 【県】

- ①種籾の需給調整、採種・栽培の支援、技術指導等
  - 【山形県稲発酵粗飼料種籾生産・供給協議会】
    - ・種籾生産と供給体制を構築
    - 【耕種農家】
      - ・種籾生産（協議会委託）
      - ・直播栽培実証
- ②飼料分析、巡回指導等
- ③飼料生産実証の支援、技術指導、広域流通の検討会を開催
- ④モデル実証、技術指導
- ⑤新技術の実証とPR

## 事業目標

・稲発酵粗飼料作付面積 R3（直近）966 ha ⇒ R6（目標）1,100 ha

## 問い合わせ先

- 担当課：畜産振興課  
畜産生産基盤担当
- 電話：023-630-2435

# 【継続】豚熱等対策事業費

## 概要

○豚熱・アフリカ豚熱の侵入防止に向けた検査・防疫体制と、県内全域の飼養豚に対する豚熱ワクチンの計画的な接種による発生の未然防止に向けた体制の強化

予算額（当初）：104,199千円

事業期間：令和2年度～

## 背景／課題

### 背景

- 平成30年9月、国内では26年ぶりに豚熱が発生し、中部地方から関東、東北、近畿地方へと発生が拡大  
その原因となっている野生イノシシについても感染が同様に拡大
- アフリカ豚熱が、中国からアジア全域へと感染が拡大しており、国内の主要空港で、違法に持ち込まれ摘発された豚肉製品の一部から、病原体が検出
- 令和4年3月15日現在、県内養豚場で1農場、野生イノシシで18市町118事例の豚熱陽性が確認されており、今後も本県での発生リスクが極めて高い状況

### 課題

- 検査の迅速化、診断機能の充実による防疫体制の強化が必要
- 農場におけるイノシシ等の野生動物の侵入防止や消毒の徹底等による防疫対策の強化が不可欠
- 発生を未然に防ぐためのワクチン接種体制の構築が必要

## 事業内容

### 1 豚熱・アフリカ豚熱の検査体制の強化

- 家畜保健衛生所の検査・診断機能の充実に向けた、検査機器等の整備
  - ・検査機器（高速液体クロマトグラフィー）の整備
  - ・検査診断用薬品及び検査資材の整備

### 2 養豚経営体等に対する防疫対策強化支援

- 養豚場へのウイルス侵入防止対策に対する支援
    - ・野生動物侵入防護柵（新たに豚舎を整備した場合に限る）
    - ・動力噴霧器等の消毒機器
- 【豚熱等侵入防止緊急支援事業】
- ・事業実施主体：営農集団（3戸以上の養豚経営体）、農協等
  - ・補助率：国庫1/2以内

### 3 豚熱ワクチン接種体制の強化

- 豚熱の発生を未然に防ぐため、県内全域の飼養豚を対象とした継続的なワクチン接種体制の維持



## 事業スキーム

- ・養豚場における豚熱ワクチン接種体制は、知事認定獣医師又は家畜防疫員の2体制を維持

ワクチン使用許可申請・許可手数料  
（@70円/頭・薬剤費、管理費相当）

ワクチン接種手数料  
（@310円/頭）

知事認定獣医師  
（接種資材等を購入・準備）



養豚農家



家畜防疫員

## 事業目標

- ・適切な豚熱ワクチンの接種による養豚場における豚熱発生リスクの低減

※山形県豚熱対策本部対応マニュアル

## 問い合わせ先

- 担当課：畜産振興課  
衛生担当
- 電話：023-630-2470

# 【拡充】家畜保健衛生所施設設備整備事業費

## 概要

○置賜地域の家畜防疫の最前線の拠点としての機能を備えた置賜家畜保健衛生所の庁舎の改築等

予算額（当初）：54,287千円

事業期間：令和4～7年度

## 背景／課題

### 【現状】

- ・現庁舎は昭和45年に建設され、築51年が経過し施設が老朽化
- ・法律の改正や今般の家畜伝染病の発生等、社会情勢の変化により、家畜保健衛生所の施設設備に求められる機能が変化

### 【課題】

- ・耐火構造の他、排気排水設備、二重扉等、感染症法上、必要な設備が未整備
- ・豚熱、高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫等の家畜伝染病防疫対応の拠点となるが、施設が狭隘であり、防疫拠点としての機能不足

## 事業内容

置賜家畜保健衛生所改築基本・実施設計等【新規】

### 1 整備スケジュール

- 令和4年度 基本・実施設計  
地質調査  
研修棟及び車庫解体  
車庫建築
- 令和5年度 解剖室建築・焼却炉設置
- 令和6年度 新庁舎建築
- 令和7年度 現庁舎解体

### 2 整備予定地

現庁舎の敷地内における改築



## 事業効果

- ・施設の老朽化及び狭隘化の解消
- ・感染症法に対応した設備の整備
- ・豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等、危機管理上、必要な防疫資材の備蓄や病原体の拡散を防止するための設備を整備

置賜地域における  
家畜防疫体制の強化

## 事業目標

- ・置賜家畜保健衛生所の令和7年4月からの供用開始

## 問い合わせ先

- 担当課：畜産振興課  
衛生担当
- 電話：023-630-2470

